

心が動いた子どもたち・・・, 感動・感心・感謝の「三感王」!



左の写真は、見ての通りゴミが入った袋です。
先日この袋を見せてくれたのは、登校してきた2年生の男の子たちでした。
「ありがとうね!」
その時はゴミが入ったその袋を途中で拾ってくれたんだろうと勝手に思い込んでいたのですが、実は違いました。
なんと、袋を自宅から持参し通学路に落ちているゴミを拾いながら来たというのです。びっくりです。
近くにゴミ箱などがあれば拾おうかと思う気持ちにもなるのですが、そうでなければ気に留めても拾おうとする人はなかなかいないものです。

担任の先生に話を聞くと、
「2月になり、雪が少なくなってきてゴミがたくさん落ちているのが気になったと言っていました。」
「生活科や国語科の学習で、身の回りの自然環境に目を向ける機会があったので、心が動いたのかもしれないです。」と説明してくれました。

もちろん、衛生面や安全面での不安があることを担任から子どもたちに伝え、保護者へもお知らせさせていただいています。すると、その後はゴミ拾い用のマイトングを持ってゴミ拾いを続けてくれています。

そうした姿を見ていた交通指導の当番で立っていた保護者さんからも、「ゴミ拾いをしながら登校する低学年の子を見て、すばらしいなと思いました。」との声が寄せられています。

このゴミ拾いの輪はさらに広がりを見せ、他にもマイトングを持参し、拾い始めた女の子もいます。杉妻小に、「心が動いて、行動が変わる子」が増えていくのはとてもうれしいことです。

あいさつ運動もそうですが、そうした行為が特別なことではなく「当たり前のこと」という“空気”が広がってくれることを願っています。

2-	さん,	さんが
キッカケで輪が広がっています。(2/4現在)		
2-	さん,	さん
	さん,	さん
	さん,	さん
3-	さん	

